

天神の家

敷地は深谷市街地にあり、
祖父母が酒屋さんを経営していた思い出のある土地に
ご夫婦二人・お子さん3人の5人家族で住むための住宅。
祖父母が大切にしていた記念樹を残し、
「庭」のつながり、
「そと」と「うち」とのつながり、
「家族」とのつながり、
日々変化する日常のなかで
「ちょうどいい」距離感の家ができました。

data	
用途	専用住宅
用途地域	第一種住居地域
構造・規模	木造2階建て
敷地面積	260.36㎡ (78.75坪)
建築面積	89.43㎡ (27.05坪)
1階床面積	86.12㎡ (26.05坪)
2階床面積	59.62㎡ (18.03坪)
延床面積	145.74㎡ (44.08坪)
小屋裏面積	21.53㎡ (6.51坪)

住宅性能	
地域	6地域(埼玉県深谷市)
断熱性能 UA値	0.42W/m ² ・K
相当断面積 C値	0.44cm/m

設備	
全館冷暖房	容量5.6kW
太陽光発電	容量13.365kW



■敷地を読む

敷地は南側道路、東側道路に面している。朝夕の通勤時間帯などは交通量が多い。既存建物は酒屋さんを経営していたこともあり建物も道路ギリギリに建っていたが、なるべく道路から距離をとれるように庭を計画。アプローチは、記念樹を残すことと駐車場3台分を確保することを考え、東側道路に面して計画。西側には、昔から親しまれている中華屋さんがあり街並みに溶け込むように、南側から見ると高さを抑えた外観とした。

■風の流れを読む

地域の気候を読み、春や秋の心地いい風が流れるように窓を配置。



■パッシブデザインとアクティブデザイン

空調：小屋裏空間に全館空調設備を設置
夏は天井面とついている吹き出しから（上から下へ）
冬は主に床下に暖かい空気をいれて後面吹き出しから（下から上へ）
効率的に部屋全体をムラなく暖かくし、暖かい太陽光発電と組み合わせることでお掃除が楽になる。

吹抜：吹抜を活用して1階から2階へ空気を送る

高窓：換気や風の抜けを考え重力換気を促す

軒の出：軒の出は90cm
太陽高度の高い夏は日射遮蔽
太陽高度の低い冬は日射取得

意ガラス：複合ペアガラス
Low-Eガラス
夏の日射を遮るために北西東面は遮断型
冬は日射を入れて遮さないために南面は断熱型

狭い空間でもつながる床下空間

■『つながり』を創る

家族のつながり、空間のつながり、「そと」と「うち」のつながり、子供たちの成長とともに居場所が変化する家づくり

水廻りはひとまとめにしてプライベート空間を北側に配置

キッチンからリビングダイニングが見渡せて、子どもたちの様子をしながらお料理ができる

洗面から直接アクセスできるワークインロードゾーン

お客さんが来たときは上開玄関でゆっくりできる

吹抜でつながる書斎
勾配天井でこめるスペース

上開玄関とリビングダイニングの壁を透明な素材にしたリビングダイニングから書斎が見える

子ども室は勾配天井に開放的に

1階平面図

2階平面図

南側立面図

東側立面図

北側立面図

西側立面図



上開玄関：上部の窓からは空が見える
勾配天井でつながる障子戸はご主人の書斎スペース

リビングダイニング：東側上部の窓から自然光を取り入れる
上開玄関、吹抜でつながり開放的な空間

小屋裏書斎：吹抜で上開玄関とリビングにつながる
本師がご主人のDIYで手作りしたお洒落な書斎